

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 白石市立白川小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒989-1102
宮城県白石市白川津田字大淵30

E-mail info@shirakawa-e.shiroishi-c.ed.jp
Website http://www.shirakawa-e.shiroishi-c.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 28 名 女子 28 名 合計 56 名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「健康で主体的に学ぶ人間性豊かな児童の育成」を教育目標とし、「瞳輝け 生き生き もくもく 白川っ子」をスローガンに、E S Dを「これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動と捉え、E S Dの実践を通して、「他者と関わる力」「責任を持って仕事に取り組む力」の育成を目標とした。

具体的には、「クリーン作戦」「ぶち合わせ太鼓」「読み聞かせ」「羽山まつり参加」を柱に、①環境の尊重に係わる活動、②伝統を大切にする学習、③読み聞かせボランティアと係わる学習、④地域の方と係わる活動を行った。

①環境の尊重に係わる活動

学校の敷地内の除草および学校の周りのごみ拾いを行った。6年生が中心となって計画を立て、当日は作業の説明やごみの分別を行った。まず、自分たちの身近な所から環境整備をすることで、より良い環境を作っていこうという意識が養われた。

②伝統を大切にする学習

「ぶち合わせ太鼓」は白川小学校で代々6年生が受け継いできた伝統的なものである。毎年、6年生から5年生へと受け継がれ、入学式や学習発表会等で披露している。力強い太鼓の音を聞いて、下級生はやがて自分たちもあの太鼓をたたきたいという気持ちを持ち、自然と伝統を大切にする心情が養われる。

③読み聞かせボランティアと係わる学習

年間を通して、3名の読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施している。ボランティアは地域の方や保護者で、継続して読み聞かせをしていただいている。児童は、読み聞かせボランティアの方々が来校するのを楽しみにし、毎回真剣に聞いている。読んでもらった本について、感想を言うことなどを通して読み聞かせボランティアの方とのコミュニケーションを楽しんでいる。

④地域の方と係わる活動

毎年、地域の「羽山まつり」に参加している。ステージで「ぶち合わせ太鼓」と「白川ソーラン」を披露し、地域の方々とともにまつりを楽しみ、地域の方々と交流活動を行っている。地域の方々は、白川小学校の子供達がステージで披露する演技に盛大な拍手や声援を惜しまず、学校と地域の一体感を作っている。



① 環境の尊重に係わる活動

②伝統を大切にする活動



読み聞かせボランティアと
係わる学習

④地域の方と係わる活動

(2) 活動の詳細
活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

「クリーン作戦」は特別活動（児童会活動）, 「ぶち合わせ太鼓」は総合的な学習の時間の活動として行っている。指導内容は前年度の反省を基に必要に応じて改善を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌において各担当は複数担当とし、互いに相談や協力ができるような体制となっている。

- ③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価（内部）において、活動の内容や指導方法について反省を行い、改善点があれば改善を行っている。学校評議員に活動内容の評価を依頼し、意見をもらうようにしている。学年の人数が減少傾向にあるので、少人数でも可能な活動を考えていく必要がある。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

「ぶち合わせ太鼓」については、活動紹介記事などによって外部に活動内容を発信することができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

現在は実施していないが、特に地域コミュニティとのネットワーク形成に取り組んでいきたい。

- ⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

現在は実施していないが、他のユネスコスクールとの情報交換や交流を行っていきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

読み聞かせボランティアや学習支援ボランティアとの交流を通して、児童が地域の方と交流し、コミュニケーションをすることができた。また、伝統的な活動である「ぶち合わせ太鼓」を披露することで地域の方々と交流する機会を持つことができたことは、児童が他者と積極的に係わる貴重な体験の場となった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

「クリーン作戦」や「羽山まつり参加」は引き続き行っていく。これまで主な進学先となっていた白川中学校が閉校となることに伴い、新たな進学先となる東中学校への進学を見据え、大鷹沢小学校との交流活動を実施していく。新たな学習支援ボランティアの募集などを行い、地域の方々と交流する機会を増やしていく。